栩野正喜の勁草塾・・「ヤメル・カエル・ヘラス」

サラリーマン時代に改善リーダーを経験したことがあり
「ヤメル・カエル・ヘラス」と「ムダ・ムラ・ムリ」
の2つの視点で現場をチェックしていました。

「ヤメル」・・その仕事や動きをやめられないか
「カエル」・・それは別の方法や物に変えられないか
「ヘラス」・・量を減らすとどうなるか

「ムダ」・・それはムダな動きや物ではないか
「ムラ」・・規則正しいリズムになっているか
「ムリ」・・誰でも出来るようにならないか

皆さんも今一度、仕事を棚卸して2つの視点でチェックしてください。

試しにこの勁草塾の場合
「ヤメル」・・ヤメルと皆さんに気付いて頂くツールがなくなる
「カエル」・・別のスタイルに変えると表現が難しくなる
「ヘラス」・・文字数を極力少なくする努力をする
「ムダ」・・皆さんの気づきになればよい
「ムラ」・・定期的に書いているので問題なし
「ムリ」・・書くネタが無くならないように心掛ける
とチェックしてみました。

この6つで「ヘラス」で新しい気づきになりました。

どうも私の癖なのか、矢鱈、文字数が多くなりがちです。

文字数が多いと読む方も負担になりますので
極力減らすように頑張ります。

具体的には「推敲」を重ねることになり、
結果的にはよい文章に仕上がると分かりました。

早速、前回より文字数を4割減にしてみました。

【勁草塾のバックログはホームページにあります！】